

施設内ノロウィルスの 発症報告

平成25年11月7日

全社連 宮城社会保険介護老人保健施設 サンビュー宮城
看護師 長田 紀子
介護士 佐藤 卓

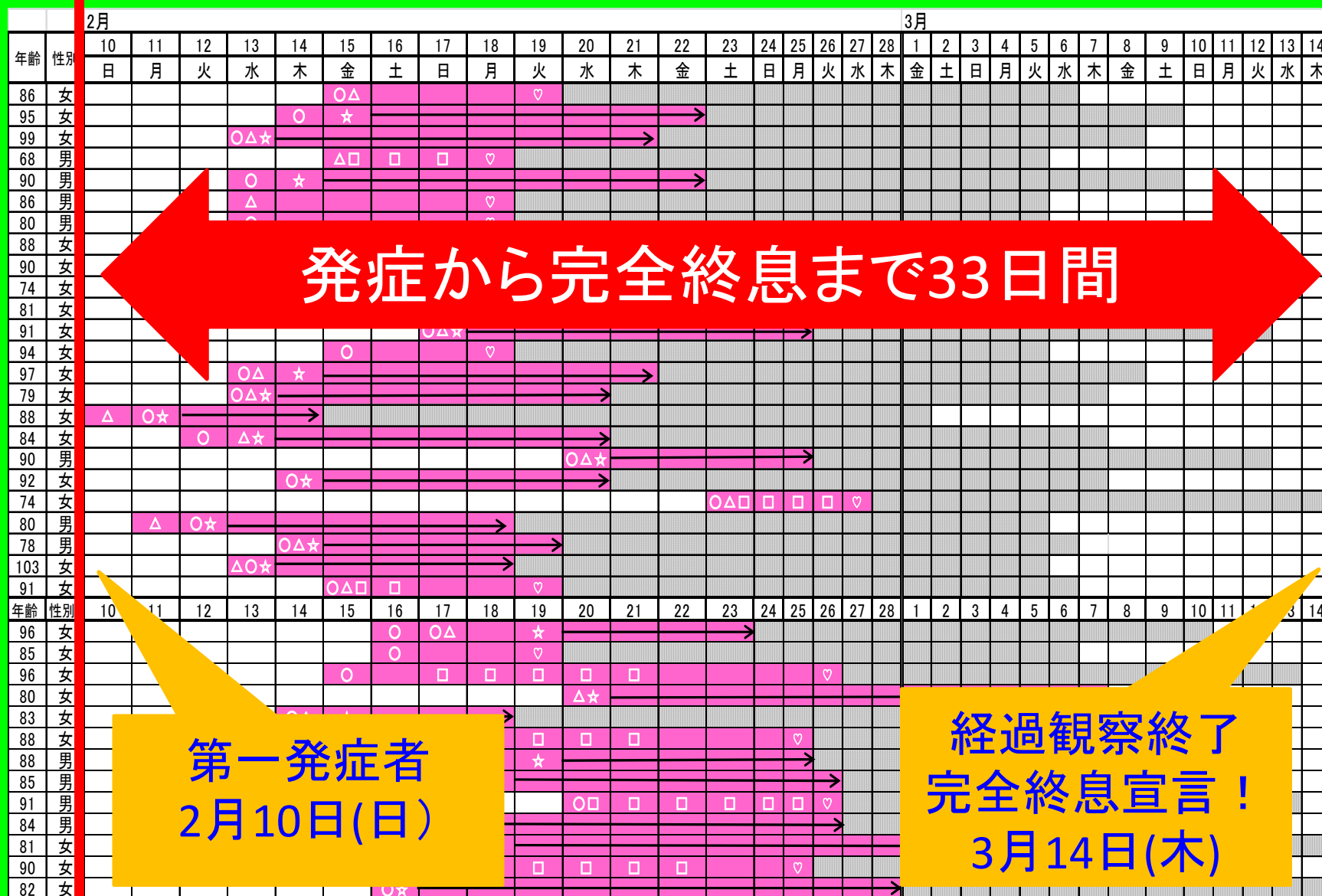
はじめに



平成25年2月、入所者37名、職員7名、あわせて43名のノロウィルス集団感染があった。死亡者を出すことなく2週間で終息出来たのでここに報告する。



感染発症から終息まで 感染カレンダー (平成25年2月10日～平成25年3月14日)



発症から完全終息まで33日間

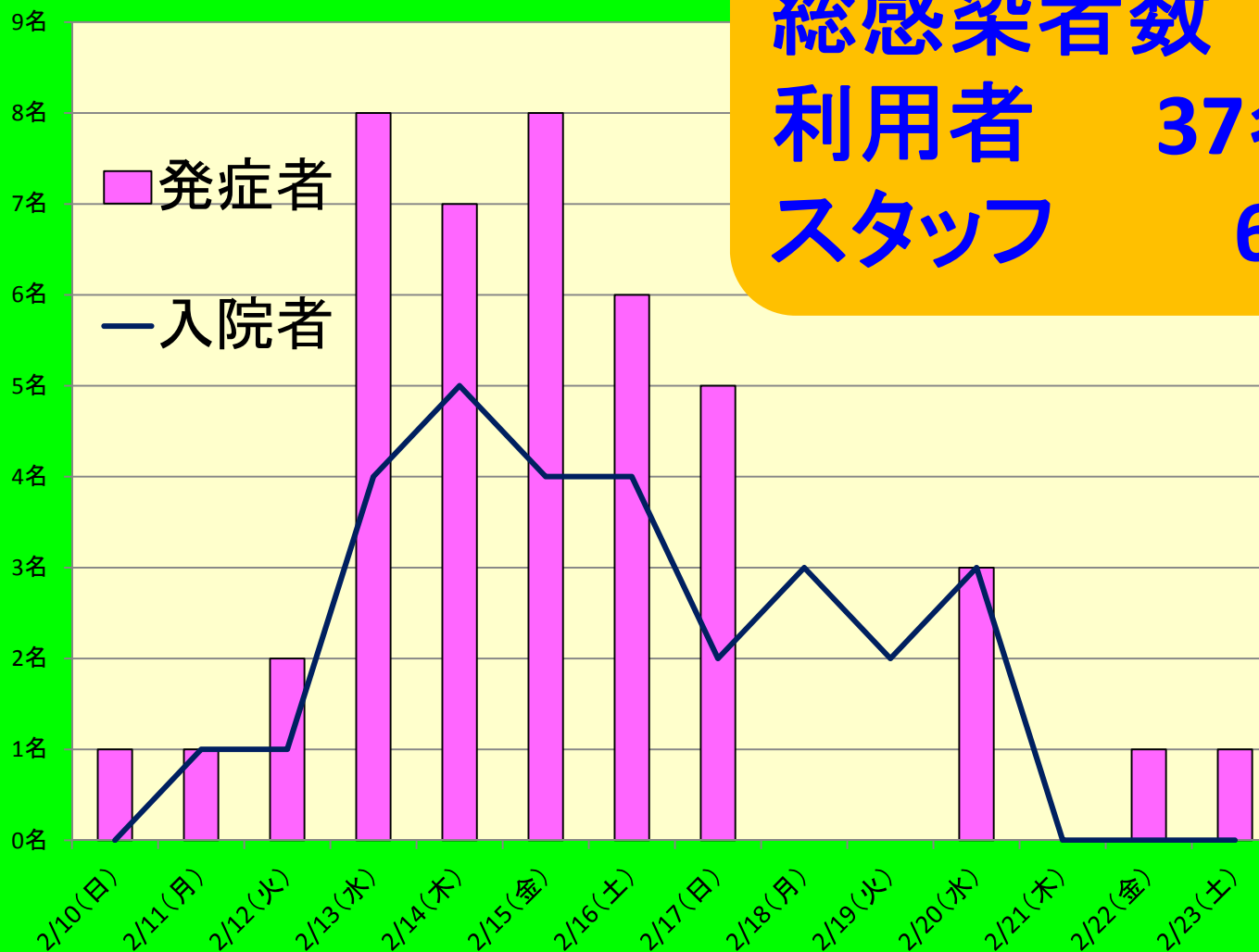
第一発症者
2月10日(日)

経過観察終了
完全終息宣言！
3月14日(木)

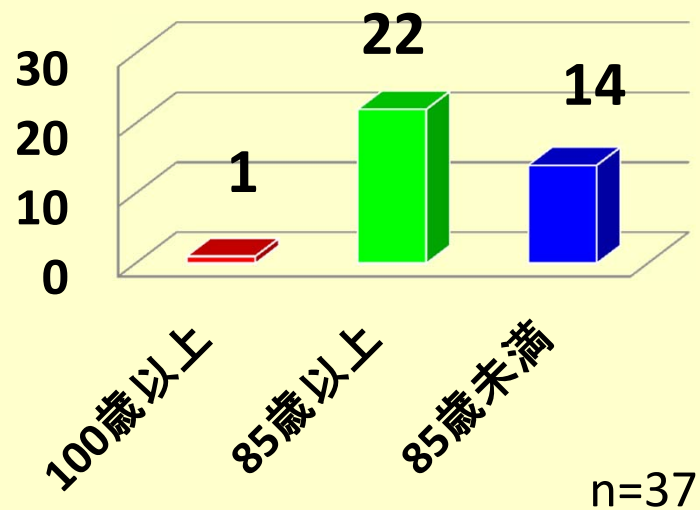
総感染者数

利用者 37名

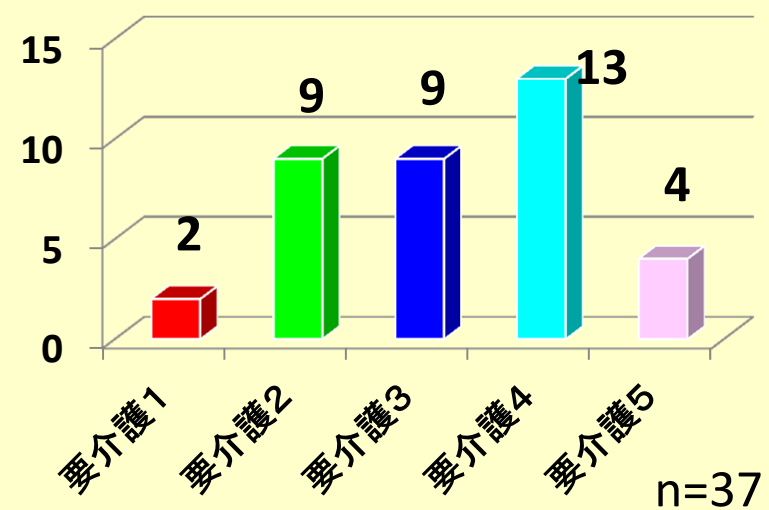
スタッフ 6名



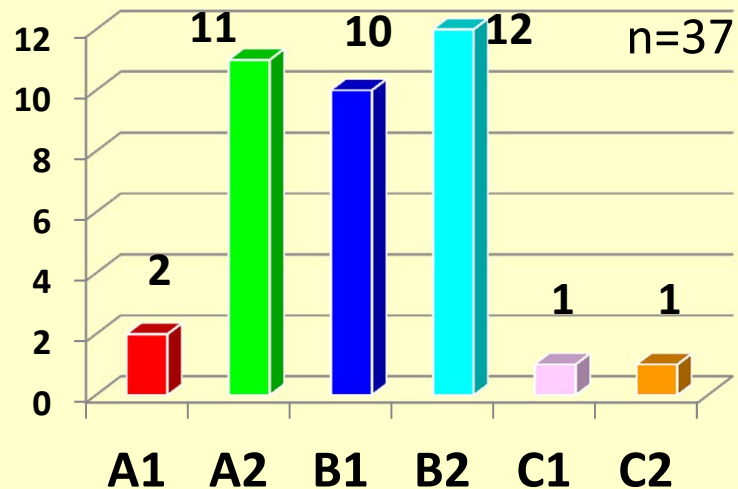
発症者年齢



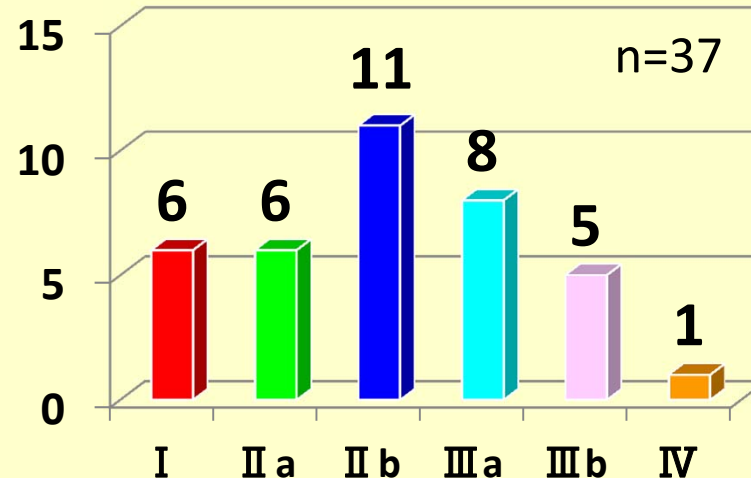
要介護度



障害高齢者の日常生活自立度



認知症高齢者の日常生活自立度



考 察

- 面会の家族からノロウィルスが持ち込まれた。
- スタッフの初期対応が順守できていなかった
- 施設内環境清掃が不十分だった
- ノロウィルスは接触感染であり、認知症のある利用者の行動制限は難しい
- 些細な症状変化を見逃さず、素早い対応、適切な処置で死亡者・重症者を防げた
- 職員・利用者の流水での手洗いの徹底をした

まとめ

- 利用者だけではなく、面会者の体調確認も必要
- 2週間で終息できたのは、情報の共有化をはかり、全職員が統一した対応をした
- 点滴による徹底した脱水防止で、重症化を防げた
- 接触感染において、発症者と非感染者の接触を早期に防ぐことが、感染拡大防止に重要
- 次亜塩素酸ナトリウムを使用しての環境清掃は効果的